



元素のほうを見てみると、「大気」(P119)は鳥、「火」(P47,131)は燃えやすいもの、「大地」(P141)は狩猟の動物、「水」(P125)は魚が描かれている。「四季」のつながりや「四大元素」の経験に関しては、鑑賞者は感覚(アリストテレスの分類によれば、味覚、触覚、嗅覚、視覚、聴覚)を通して作品を味わう。「四季」と「四大元素」を描くことによって、アルチンボルドは物質やその性質を感覚によってとらえることの意味や可能性を完璧に理解した。これらの作品の中で、アルチンボルドは味わい、触り、見、嗅ぎ、聞くという感覚を表現した。

「夏」

1563年

パネルに油彩、67 x 50.8 cm

ウィーン 美術史美術館